



発行所・新世界通信 発行人・小川春夫
東京都足立区梅島2-38-11-303
TEL 03(3849)4953 FAX 03(3849)4938
郵便振替 00160-4-174947
E-mail ga3129@i.bekkoame.ne.jp
URL http://www.bekkoame.jp/i/ga3129

闘つてこそ！大幅賃上げも平和も

1月26日通常国会が開かれ、金権腐敗の自民党が化粧直しの答弁を行なう。30日岸田首相が施政方針演説を行なった。

賃金底上げ24春闘を 「官製春闘」では格差拡大

1月22日に「政労使会議」が開かれ、岸田首相は、連合や経団連の代表者に対して「昨年を上回る水準の賃上げ」を実現するよう求めた。

消費者物価指数は、生鮮食品を除く総合が3.1%、実質賃金の計算として、物価対策とステイジの転換の二をあけていた。昨年の賃金の賃上げは105.60円、3.58%であった。

1人の餓死・凍死者も出ずな

昨年12月28日の突入集会から本年1月4日朝の野営闘争本部の撤収まで、三角公園を拠点として闘い抜かれた第54回冬闘争の闘争は、その年終りに勝利することができた。

オプティカルハイテック労組、高空籠城闘争突入

韓国オプティカル・ハイテック労組が、本年に入り急展開を見せている。会社側、行政・クミ市、司法が一体となつた会社清算の組合攻撃に対して1月8日、金属労組東北支隊、韓国オプティカルハイテック支隊、オプティカル組合の首脳副委員長らパ・ヨン・ヘンさんと組んで、工場屋上での高空籠城闘争に突入した。

第54回釜ヶ崎越冬闘争12・28〜1・4貫徹

闘争がパレスチナ人民との連帯、戦争に反対する旗の下にあることが明らかになった。集会は、大阪・関西において反原発闘争、日本軍慰安婦問題、茨山再審闘争の仲間たち等々多くの人々が集まり、たき火で暖を取り、握り飯を満した。大成功で終了した。

賃金底上げ24春闘を 「官製春闘」では格差拡大

鮮食品を除く総合が3.1%、実質賃金の計算として、物価対策とステイジの転換の二をあけていた。昨年の賃金の賃上げは105.60円、3.58%であった。

賃金底上げ24春闘を 「官製春闘」では格差拡大

品に投資せよ」ということであり、生産性の低い中小企業や公共サービスなどを淘汰せよということである。労働者に対する格差・差別を助長するもので、24春闘をとらえれば、24春闘を闘えば、賃金は上がるといえる。

賃金底上げ24春闘を 「官製春闘」では格差拡大

賃金は2012年連続してマイナスであり、昨年11月の実質賃金は前年同月比3.0%の減少であった。物価対策としては、物価抑制策である。

賃金底上げ24春闘を 「官製春闘」では格差拡大

賃金は2012年連続してマイナスであり、昨年11月の実質賃金は前年同月比3.0%の減少であった。物価対策としては、物価抑制策である。

これらから、各団体、個人は連携して、炊き出し、夜廻りをしていて、仲間間の生命を守る。さらに「闘いでタケの食いはくみ」作りへど、闘いは続く。秋は、(釜ヶ崎S) 13釜ヶ崎ツアード。第54回釜ヶ崎越冬闘争期間のさなか、釜ヶ崎講座は「12・31連帯行進」と「新年恒例釜ヶ崎歩キツアー」を貫徹した。

折しも昨年12月OPP労組の東京第三次連帯闘争連帯の挨拶はJAL労組の山口委員長、東京釜ヶ崎分組の岡分委員長(東京K.U.通信員)

横堀農業研修センター破壊・第3滑走路建設反対！ 許すな！新たな土地強奪

●12・3共有会総会
三里塚で一坪共有地の登記を、共有運動の会に集約して闘いを進めている。一般社団法人三里塚大地共有運動の会(以下「共有会」)は、2月3日(日)現地、三里塚山町の横堀農業研修センターにおいて第6回総会を開催した。参加者は出席、委任、書面議決などで50名。

総会は、山口幸夫代表理事による開会宣言が、理事による開会宣言が、柳川秀夫さん(三里塚山町連合会代表)と、塚山連合会代表のあいさつ

に続いて、理事の大森武徳さんから1号2号議案提案と、事務局の繁山達郎さんから補足説明が、さらに、中川憲一理事の監査報告に続いて、4号5号議案報告、補足説明が行なわれた。

質疑では、横堀農業研修センター裁判に向けての清井礼司弁護士からのメッセージ、また、9・18の原発、気候集会(東京代々木公園)で取り組んだ会の宣伝活動について継続すべきという提案などがあつた。そして、野崎謙さん、柳川さんから、空港会社の第3滑走路予定地の買収の動きについて報告を受けた後、総会が反対なして可決・承認された。

終了後、12人で加瀬勉さん宅(多古町牛尾)を訪れ、第3滑走路の騒音立退き区域となり、一部で移転が始まった地域の現状について、お話しを聞いた。

共有運動の会は、会への登記移転を確実に進めて闘いの陣形を強化して闘う。

●1・7旗開き&デモ
明けて1月7日、2024年反対同盟旗開き&東峰現地行動が行なわれた。

横堀農業研修センターに43人が結集。昨年7月のフレイルドワッチに参加した若人たちが初参加も見られた。豚汁が4年ぶりに復活。旗開きは、柳川秀夫さんのあいさつで始まり、58年前、大事なものを守ろうと、古村も開拓部落も立ち上がった。農家は封建的だったが、家族が縛られたという大きなものが壊れようとしていた。いまは村落共同体が崩壊し、価値観が壊された。見えなくなった守るもの、もう一回作

り直していくことが大きな課題だ。横堀農業研修センターを奪うための闘いが始まる。いま環境が生存を脅かす、作物に影響する時代。滑走路を大きくし、空港を巨大化するという考え方は絶対受け入れられない。これからはもつと一緒に関わっていきなさい」と発言した。

続いて大森武徳さん(東峰・らっきょう工場)と三里塚大地共有運動の会が宣言。大森さんは「木の根のイベントに来る人に三里塚の歴史を説明する。補修に協力する」という声がかかる。壁

面は、原発5km以内がま

ず逃げ、5・30kmは当面屋内退避となつてい

る。

東海村の広域避難計画は、複合災害を全く想定せず。第二次避難についても想定していない。誰一人取り残さない避難計画の策定は不可能であり、超危険な老朽原発の廃炉こそ求められる。

●東海第二の再稼働は、今秋あるいは工事の進捗では来春になることも予想される。再稼働の是非について住民の意向をいかに確認するのかが、これが重要となるだろう。村長や町長と対峙し、その答えが出ていくわけではなく、地元住民と連携し、県内、首都圏の関心を拡大して、再稼働を阻止しよう。

(〇)

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

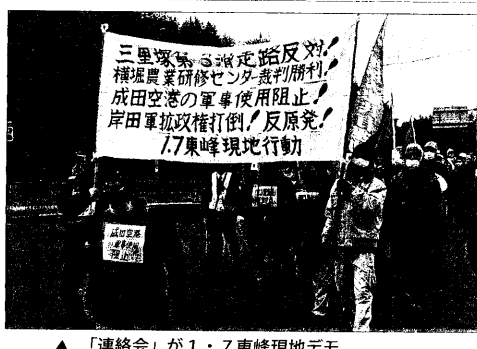
また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。



▲「連絡会」が1・7東峰現地デモ

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

1・21 東海村議選、再稼働反対派を維持 能登地震は重大警告

東海第二原発の再稼働の是非等を争点とした茨城県東海村の村議選は、1月21日投票された。新村議が確定した。

再稼働反対の候補では、トップ当選の村上志保さんを含め4名が当選し、前議会と同数を維持した。しかし1名落選で反対派の拡大とは成らなかった。

他方、再稼働推進派は、9名で構成する最大会派「新政どうかい」が8名当選。さらに初当選した5名の内3名が、安全確保を前提に再稼働容認との立場であり、結果として容認派がなるとも11名で過半数を維持する結果になった。

当日有権者数は3万1374人。投票率は50.1%で、前回を数%下回る過去最低と

ついで報告を受けた後、総会が反対なして可決・承認された。

終了後、12人で加瀬勉さん宅(多古町牛尾)を訪れ、第3滑走路の騒音立退き区域となり、一部で移転が始まった地域の現状について、お話しを聞いた。

共有運動の会は、会への登記移転を確実に進めて闘いの陣形を強化して闘う。

●1・7旗開き&デモ
明けて1月7日、2024年反対同盟旗開き&東峰現地行動が行なわれた。

横堀農業研修センターに43人が結集。昨年7月のフレイルドワッチに参加した若人たちが初参加も見られた。豚汁が4年ぶりに復活。旗開きは、柳川秀夫さんのあいさつで始まり、58年前、大事なものを守ろうと、古村も開拓部落も立ち上がった。農家は封建的だったが、家族が縛られたという大きなものが壊れようとしていた。いまは村落共同体が崩壊し、価値観が壊された。見えなくなった守るもの、もう一回作

り直していくことが大きな課題だ。横堀農業研修センターを奪うための闘いが始まる。いま環境が生存を脅かす、作物に影響する時代。滑走路を大きくし、空港を巨大化するという考え方は絶対受け入れられない。これからはもつと一緒に関わっていきなさい」と発言した。

続いて大森武徳さん(東峰・らっきょう工場)と三里塚大地共有運動の会が宣言。大森さんは「木の根のイベントに来る人に三里塚の歴史を説明する。補修に協力する」という声がかかる。壁

面は、原発5km以内がま

ず逃げ、5・30kmは当面屋内退避となつてい

る。

東海村の広域避難計画は、複合災害を全く想定せず。第二次避難についても想定していない。誰一人取り残さない避難計画の策定は不可能であり、超危険な老朽原発の廃炉こそ求められる。

●東海第二の再稼働は、今秋あるいは工事の進捗では来春になることも予想される。再稼働の是非について住民の意向をいかに確認するのかが、これが重要となるだろう。村長や町長と対峙し、その答えが出ていくわけではなく、地元住民と連携し、県内、首都圏の関心を拡大して、再稼働を阻止しよう。

(〇)

また、柳川秀夫さん、鎌田慧さんらの呼びかけで「横堀農業研修センター(三里塚農合研修センター)を支える会」を立ち上げ、裁判カンパ、賛同人などの取り組みを行なっている。

●1・28関西旗開き
1月28日には尼崎市内、関西三里塚旗開き、共有運動報告会が開かれた。主催は関西三里塚闘争に連帯する会と関西三里塚相談会で25名が参加した。

最後の芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

最後に芝崎真吾さん(連帯社)の閉結カンパビかけます」とアピールした。

福岡空港・博多港 戦争想定「特定重要拠点」

岸田政権は中国、ロシア、朝鮮との戦争を想定し、自衛隊が自由に利用できる特定重要拠点として、福岡、長崎、熊本、鹿児島、沖縄の9道県に13空港と19港湾、南西諸島の戦争を想定して西日本が大半を占め、次は自衛隊が多く配置されている北海道である。最も沖縄は与那国宮古、久米島など5港湾と、石垣、那覇など5港湾の計12施設。北海道は釧路空港と、留萌、室蘭など5港湾。福岡は敦賀港は、周辺に原発が多く立地するためとみられる。

福岡市では昨年の10月10日、内閣府が市役所を訪問。博多港が特定重要拠点港湾に選定され、要拠点港湾に選定されれば岸田政権の整備、国全体の防衛体制を強化する。平時における自衛隊、海上保安庁の船舶が泊留に

加した。

冒頭、三里塚闘争に絡み、共有運動の関西での取り組み強化についても討論が行なわれた。

関西の諸団体、泉州沖に空港を造らせない住民連絡会、南西諸島の自衛隊配備に反対する大阪の会からアピールを受けて終了した。

1月29日には、横堀裁判の第一回口頭弁論が干葉地で行なわれた。裁判の傍聴には4名が駆け付けた(詳細は後号)。

(S)

運動に決起。米軍は反米闘争が広がるのを恐れ、板付基地の機能を沖繩を移させることで運動の鎮静化を図った経緯がある。

しかし日米地位協定でも福岡空港に米軍専用区域が残っており、滑走路は日共同使用区域のため、米軍が「使用」する。通告すればいつでも使用できるようにする。

よって、福岡市では超党派で板付基地返還促進協議会が結成され、米軍に対し福岡空港の全面返還を今日まで求めてきている。今回、福岡県議会が実行委員会として、博多港の軍事利用化反対法を、福岡空港(板付基地)についても全面返還を申し入れたものである。

板付基地・博多港はかつて、朝鮮戦争での直近の出撃基地となった。昨年来、朝鮮半島の緊張が激化しているが、これらが再び戦争基地となつては断じてならない。

なお、福岡空港(板付飛行場)は、昨年の12月11日に重要土地利用規制法の注視区域に指定され、土地や建物に規制をかけるという国による住民監視が始まっている。

博多港が特定重要拠点港湾となり、自衛隊が常時利用できるようになること、博多港との周回も同法の注視区域に指定され、港湾関係者や付近住民への監視が行われる可能性があるが、そのことも福岡県議会が実行委員会(九州M通信員)

代執行・大浦湾埋立着工の乱暴・粗雑

無関心そのうち戦争!

岸田政権は、辺野古代執行裁判での上告を認める福岡高等裁判所の判決を待つまでもなく、また沖繩県と、法廷受審事務の代執行に踏み切ったのである。

この日、玉城知事はコメントを発表し、大浦湾埋立着工について「丁寧な説明という言葉とは真逆の極めて乱暴で粗雑な対応」と厳しく批判した。

1月12日、辺野古ジュワブ基地ゲート前では大浦湾埋立着工が抗議する県民集会が「オール沖縄」主催で開催され、平日の午前中であるが約900人が集結した。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

裏金・自民党は解散せよ

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

（4面より）

生じた。この傾向はしばらく続いたが、その後3回の衆参選挙で結局、我々がせんかたつた。

後、沖繩ではこの「19」の日行動は、総裁選に向けた野党の地盤を揺るがすものと見て、代執行・埋立着工の再開を阻止する重要な行動として注目されている。

2月4日の年頭会見で岸田は「総裁選中に改正を表現したい思いは変わりなく、議論を進める最大の努力を怠らないうえに、今年は大衆努力で進める権利をうたう」と訴えている。

執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

（一）反社

この日、玉城知事はコメントを発表し、大浦湾埋立着工について「丁寧な説明という言葉とは真逆の極めて乱暴で粗雑な対応」と厳しく批判した。

1月12日、辺野古ジュワブ基地ゲート前では大浦湾埋立着工が抗議する県民集会が「オール沖縄」主催で開催され、平日の午前中であるが約900人が集結した。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

改憲阻止か戦争突入か、年初の「19の日」行動と訴えた。執行高裁判決は「殺傷武器輸出をゆるぐ」改憲憲法前行動として行われた。

広がる先住民民族の闘いと深まる先住民思想(14)

アイヌ民族を劣等視し農業を強制

純一

(4) アイヌ民族を劣等視し、就農強制のための保護政策

(i) 北海道旧土人保護法の制定

1893(明治26)年11月、第五回帝國議會(埼玉県選出の加藤政之助議員(立憲改進党)が、また、1895(明治28)年2月に、第八回帝國議會(三重選出の鈴木充美議員(自由党)他五名が「北海道土人保護法」を提案する。...

目次

- I アメリカ先住民の衰退化と1960年代からの復権運動
II カナダ連邦の形成と多文化主義の発展
III 「無主地」観念否定の画期的な「モロ判決」
IV 闘いは国際組織にも波及
V アイヌ民族の先住権獲得を

(1) アイヌ民族の劣等・同化を推進する近代日本
(2) 国境線の固定とアイヌ強制移住
(3) 北海道庁の設立と北海道の地主制形成

を統制し、内務省に上市した。だが、これも実現しなかった。
(1) アイヌ民族の劣等・同化を推進する近代日本
(2) 国境線の固定とアイヌ強制移住
(3) 北海道庁の設立と北海道の地主制形成

土地を総体として略奪され、その後一部を返せさせられた。政府もそんならかの対応をせざるを得なく、1899(明治32)年3月に、「北海道旧土人保護法」(全13条)が制定された。
(1) アイヌ民族の劣等・同化を推進する近代日本
(2) 国境線の固定とアイヌ強制移住
(3) 北海道庁の設立と北海道の地主制形成

1899年、4年前に札幌で新設された第七師団が、近文アイヌの東側の隣地に移転することになり、道庁はアイヌの用地になる可能性が高いと判断し、アイヌへの「給与」を停止させた。
(1) アイヌ民族の劣等・同化を推進する近代日本
(2) 国境線の固定とアイヌ強制移住
(3) 北海道庁の設立と北海道の地主制形成

だが、これですべてが解決したわけではない。給与されないままに、その管理を天川らアイヌの代金が足りず、独断で大金を札幌の商人から借りていた。この借金のカタに、商人が暴力団まがりにどんでん送り込み、占拠し始めた。
(1) アイヌ民族の劣等・同化を推進する近代日本
(2) 国境線の固定とアイヌ強制移住
(3) 北海道庁の設立と北海道の地主制形成